

自己点検・自己評価結果

平成 30 年度

学校法人 栄戸学園
横浜未来看護専門学校

令和元年 9 月 1 日

1. 学校の教育目標

【教育理念】

学校法人栄戸学園は、「One for ALL, ALL for One」（一人は皆のために、皆は一人のために支え合う）の精神のもと、変動する社会に対応するために、未来を切り開く能力を備え、地域の保健・医療・福祉に貢献できる優れた人材を育成することを目的としています。

本校は、生命を尊重し温かく思いやりのある心を持ち、人と人との相互関係の中で成長し合い、チームとして協働できる人材を育成します。また、個人や家族、地域住民の視点に立ち、あらゆる健康状態やその変化に対応できる知識と技術を備えた看護専門職業人の育成をします。さらに、医療の進歩、社会情勢の変動を鑑み、広い視野で考え研鑽し続ける能力を養います。

【教育目標】

1. 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在としてとらえ、人間関係を築く能力を養う。
2. 生命を尊重し温かく思いやりのある心と倫理に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。
3. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う。
4. 健康の保持増進、疾病予防及び健康の回復にかかわる看護を健康の状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
5. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び他職種の役割を理解し、チームの一員として連携・協働する基礎的能力を養う。
6. 看護専門職業人として、看護への探究心を持ち、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成 28 年度より学校評価委員会を立ち上げ、平成 28 年度、29 年度の自己点検・自己評価を行い、ホームページにも公表をした。平成 25 年 3 月、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」に示された「専門学校の評価項目・指標等を検討する際の視点となる例」及び「自己評価における評価指標・観点・参考資料一覧表（イメージ案）」などを参考に評価項目ごとに本校の現状把握をしてきた。しかし、評価項目の根拠となる基準が曖昧な項目があるため、平成 30 年度の評価では「自己評価における評価指標・観点・参考資料一覧表（イメージ案）」の小項目をもとに具体的な指標を作成して点検・評価した。また、平成 30 年度入学生に外国人留学生を受け入れたことで、前年度までは評価していなかった「国際交流」についても一部評価をした。アンケートは、項目に沿って質問項目を作成（資料参照）し、平成 31 年 3 月に学生、教職員に実施し、その内容も考慮して評価した。

3. 評価項目の達成および取組状況

I 教育理念・目的・人材育成

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
教育理念・目的・ 人材育成像	①学校の理念・目的・人材育成は定められているか。	4 3 2 1
	②学校における職業教育の特色は何か。	4 3 2 1
	③社会経済のニーズを踏まえた学校の将来を抱いているか。	4 3 2 1
	④学校の理念・目的・人材育成像・特色等が学生・保護者等に周知されているか。	4 3 2 1
	⑤各学科の教育目標・人材育成像は、学科等対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4 3 2 1

【現状と課題】

教育理念・教育目的・人材育成像は、教育課程などの冊子に掲載し、入学時のガイダンスから学生に伝え、学生へアンケートの結果、80%は知っていると答えており、おおむね周知できていると考えている。一方保護者へは、学校案内パンフレット、ホームページへの掲載により目にする機会はあったと思われる。また、保護者への説明は保護者会を通し行うことはできるが、欠席が多く周知が難しい。保護者へ理解いただく方策が必要である。

社会や業界のニーズに応えられる教育を実践するために、今後は、理念・目的・人材育成像を見直していく必要があり、外部（就職先など）から意見聴取をしたり、社会的なニーズとして 2006 年に経済産業省の提唱した社会人基礎力とも照らし合わせていきたい。

II 学校運営

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
運営方針	①目的などに沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
事業計画	②運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1
組織運営	③運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1
人事・給与制度	④人事・給与に関する規定などは整備されているか。	4	3	2	1
意思決定システム	⑤教務・財務などの組織整備等意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1
コンプライアンス体制	⑥業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1
情報のシステム化	⑦情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1
教育活動の情報公開	⑧教育活動に関する情報公開が適切に行われているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

学校運営方針・事業計画は、年度初めに教職員会議にて紙面をもって周知しているため教職員はおおむね理解し、計画に沿って実施している。学校運営に必要な「組織図」「会議規程」「業務規程」「委員会規程」「各種規程・内規」は明記してある。しかし、諸規程の見直しができている現状にあり、職務の「権限」、「責任範囲」、「業務内容」等をふまえて改定する必要がある。

人事考課は、事務職員は戸田中央医科グループ（以下、TMG）の規程により行われているが、教員はできていない。教員の人事考課体制の構築が必要である。

学校安全保健計画において、危機管理マニュアルが整備されていないため、教職員が危機管理やセキュリティの不十分さを感じている。情報セキュリティとしては、校内での取り決めが十分できていない。また、学校への侵入者等に対しては、事故発生時の防犯行動は明確ではなく、訓練も必要である。教職員の防犯に対する認識を高めなければならない。ハラスメントについては、TMGの相談窓口があり教職員は利用できるが、学生の相談窓口を設定していない。倫理指針やハラスメント対応マニュアルが必要である。

情報のシステム化については、学生に関する学籍管理システムを使用している。教職員は各1台パソコンを所持しネット環境も整え、共有フォルダを活用し情報の一元化・共有化を行っているが、教職員の40%は効率化の不足を感じている。

教育活動の情報公開については、学校パンフレット、ホームページに掲載しているが、情報公開が適切に行われるためのシステムができていない。

Ⅲ 教育活動

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
カリキュラム (目標設定)	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4 3 2 1
	②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4 3 2 1
教育方法	③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4 3 2 1
	④関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4 3 2 1
	⑤キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4 3 2 1
教育の評価	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。	4 3 2 1
	⑦職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4 3 2 1
成績評価	⑧成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4 3 2 1
資格試験の指導体制	⑨資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるのか。	4 3 2 1
教職員の組織と 連携	⑩教育活動をするうえで、教職員の組織体制は整っているか。	4 3 2 1
	⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4 3 2 1
	⑫教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4 3 2 1

【現状と課題】

カリキュラムについては、教育理念・目標を意識し教育課程を編成し、教育計画を立案している。教育到達レベルは、厚生労働省から示された「看護師に求められる実践能力の卒業時の到達目標」と「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」を明示し、教育課程に盛り込んでいる。しかし、学生の低学年特に1年生において、卒業時の到達度について理解していない現状があった。そのため、今後は1年次より意識できるよう関わる必要がある。また、カリキュラムの編成は、看護師養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導要領に基づいて、カリキュラムを体系的に編成している。しかし、より理念に沿った教育課程にすること、2022年のカリキュラム改正に向けて、カリキュラム担当を中心にカリキュラムの評価をもとにカリキュラムが体系的に編成されるよう検討していく。また、キャリア教育として体系化されていないためカリキュラムの中にキャリア形成教育（キャリアサポートプログラム）を組み込んでいくことも必要である。

教育方法として、思考力やコミュニケーション力の向上を目指しアクティブラーニングを昨年に引き続き取り入れている。教員は、実践的な教育方法を工夫しているが、学習目的をより焦点化し学生にとってより効果のある学びへとつなげることが課題である。そのための学習指導案の現状の把握が必要であり、それを基に授業研究への取り組みを積極的に行う必要がある。

評価においては、教員は教育の質向上の取り組みとして授業終了後にリフレクションシートを活用し、授業評価を行なっている。しかし、学校全体（外部講師の授業も含めて）としての教育効果を向上させるために、統一した授業評価体制を検討する必要がある。客観的な評価として、今後、卒業生からの評価を取り入れ、カリキュラムの見直しも図っていきたい。

成績に関する評価は、科目試験および実習評価に基づき単位修得を行なっている。その際、学則細則に準拠して成績評価、単位認定、進級・卒業判定は、教員全体会議をもって実施している。今後は、学生により準じた評価方法について検討の余地もある。

資格取得に関する体制は、各学年で学年の特色や学生個々の特性を考慮した年間計画を年度初めに立案し実

施している。また、適宜評価を反映させている。しかし、平成 30 年度は開校以来初めて不合格者が出た。そのため、その学生と共に直後より次年の国家試験に向け準備している。

教務・事務課における組織体制はできている。しかし、アンケートにより業務分掌は適切に整備されていないの意見が多く、規程の見直しや業務分掌の整備が必要である。

学校内の教員は、全員が看護教育養成コースを修了した者、もしくは大学院修了者（教育科目 4 単位習得）である。専門領域担当については、専門領域の臨床経験を踏まえた者が担当している。しかし、在宅看護担当者の退職に伴い、在宅看護担当者が不足していること、小児看護の経験を積んでいる教員も少なく小児看護担当は 1 名である。実習指導教員は 1 名確保している。外部講師に於いては、専門的な知見を備えた方をお願いをし、より専門的なことが深め学べるようにしている。

教職員の能力開発については、教員は概ね研修体制は整っているとしている。しかし、教育効果を向上させるための個としてのキャリアアップを明確にする必要がある。今後は、社会情勢に合わせた臨床実践能力向上のために、関連施設の協力を得ての研修の検討も必要である。また、能力向上に向けての取り組みの 1 つとして、研究活動し、外部への発表も課題である。

IV 学修成果

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
就職率	①就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
資格修得率・推移	②資格修得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
中途退学者の対応	③退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
卒業生の状況	④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
	⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

就職率は 100% である。看護師国家試験の合格率は 3 年間連続 100% であったが、本年は 95% と低下した。国家試験対策としては、3 年生はおおむね適切と答えている。

平成 30 年度は前年度と比較し、退学者数は減少した。教職員からも退学率の低減が図られているという意見である。退学者数は、3 年 2 名、2 年 5 名、1 年 1 名の計 8 名であった。退学理由としては、学習意欲の低下や進路変更が多くなり、精神的な落ち込みによる学習継続困難の場合は、休学・留年になるケースが多くなっている。

卒業生の状況・動向は、情報を得る機会がない。そのため就職先からの就業状況調査をしていく必要がある。

V 学生支援

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
進路・就職対策	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
学生相談	②学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
経済支援	③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
健康管理	④学生の健康管理を担う組織体制はあるのか。	4	3	2	1
学生生活	⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
	⑥学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1
保護者との連携	⑦保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1
卒業生・社会人への 支援対策	⑧卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1
	⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1
高校との連携	⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の 取り組みが行われているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

進路・就職に関する支援体制は整備されており、学生もおおむね理解しているが低学年の学生に理解されておらず周知が必要である。

学生相談については、学生アンケートの結果、90%がカウンセリングなどの相談体制は整っていると回答し、学生相談室に関する整備はされている。しかし、教職員・学生共に、「教職員」の学生の相談に適切に対応していない、との意見もある。留学生に対しては、関連病院の中国人ナースに相談できるような体制は整えているが、利用はない。

部活動、自治会の課外活動は行えておらず、参加したい学生が50%以上いることから、支援体制を整備していく。保護者との連携については、教員の40%は、保護者と連携ができていないと考えているため、有効な保護者会の開催や保護者への連絡方法などを考えていく必要がある。

卒業生が相談・活動できる場として平成28年に同窓会が発足したが、活動がない。同窓会への活動支援や「母校への里帰り」企画をする必要もある。

社会人のニーズを踏まえた教育環境への支援体制が整備されているとおおむね理解している。しかし、一部で整備されていないとしている。「看護師養成所における 社会人経験者の 受け入れ準備・支援 のための指針（厚生労働省）」を参考に支援方針を決定していく必要がある。

VI 教育環境

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
施設・設備・機材・ 備品	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1
実習・インターシッ プ等の環境	②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について 十分な教育体制を整備しているか。	4	3	2	1
防災・安全管理	③防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

施設・設備・機材等は関係法令に従って問題なく整備され管理できているが、教職員において、施設・設備等の管理がやや不適切という結果となった。備品管理マニュアル、故障・修理などの事象発生時のワークフロー等の明文化が必要と思われる。

実習環境においては法令を順守しておりおおむね適切な回答を得られたが、アンケート結果からはやや不適切の回答も見られた。古い施設もあり要検討である。海外研修の教育体制については整備されておらず、海外

研修そのものの位置づけ、あり方から検討が必要である。

防災に対する設備・体制等は、整備され防災訓練も定期で実施しているが、教職員が災害訓練に参加できていないため、実際に理解して動けているのは少数である。また災害時行動マニュアルは作成以来、見直しがされていない。今後は、防災マニュアルを改定し、職員、学生ともに理解して動けるよう教育・訓練を継続していく必要がある。

Ⅶ 学生の受け入れ募集

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
学生募集・広報	①高等学校等接続する機関に対する情報提供などの取り組みを行っているか。	4	3	2	1
	②学生募集活動は適正に行われているか。	4	3	2	1
	③学生募集活動において、資格修得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	4	3	2	1
	④学生納付金は妥当なものになっているか。	4	3	2	1
入学選考	⑤入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

高等学校への訪問件数は年間 300 件（のべ数）を超えており、情報提供することにより、信頼関係が構築できている。学生募集活動においては、学校案内（パンフレット）は内容およびデザインを毎年改訂し、オープンキャンパスおよび入学試験は実績を踏まえながら、実施日時・回数・内容について検討するなど、それぞれ受験者のニーズを取り入れている。その結果、募集定員を満たすことができ、適正に行われていると言える。

入学選考においては、入学選考基準を設けて校内で共有しており、入学選考試験終了後に、合議制で可否を判定している。

今後の課題としては、学生募集活動内容に関する教職員全体への周知を強化していくことが挙げられる。

Ⅷ 財務

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
財務状況	①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
	②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1
監査	③財務について会計監査が適切に行われているか。	4	3	2	1
財務状況の情報公開	④財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

各項目ともに適切に行われている。単年度ごと、財務諸表及び事業報告書を5月末日までに作成し、決算にかかわる理事会・評議員会において決議を経て、学校事務局に常備し閲覧できるようにしている。今後はホームページに掲載できるように整備をしていく。

IX 法令等の遵守

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
法令遵守の状況	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか。	4	3	2	1
	②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1
適切な学校評価の 取組	③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	3	2	1
	④自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

法令を遵守し、適正に運営している。当校学則・細則は学校設立申請時に県の認可を得ており、年一回総点検を行い、必要に応じて改正している。教職員・学生に対しては、冊子を作成・配布し、オリエンテーションを実施して啓蒙に取り組んでいる。

個人情報については、「個人情報保護・倫理規程」を作成・運用しているが、個人情報保護と倫理の混在があり規程の見直しが必要であると考えます。

実務においては、志願者、学生、卒業生、教職員に関する個人情報については、紙データについては鍵付きの書庫に保管し、デジタルデータについてはアクセス権限を一部の教職員に限定するなどの措置を講じている。個人情報を外部へ提出する場合やメールでの情報提供等の対策はとれていないためマニュアルの作成が課題である。

X 社会貢献・地域貢献

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
社会貢献等の取組	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1
	②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1
	③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

実習連携病院への備品貸し出し、地域住民への図書室を開放、近隣病院などの研修に際する教室の貸し出しなど、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているが、生涯学習事業や付帯教育事業については、今後、成人を対象とした学び直し教育や、子どもを対象としたキャリア教育に貢献できる内容を検討していく必要がある。

ボランティア活動については、ポスター掲示やホームルームでボランティア募集の情報提供し、学生の意識を高め、参加を呼びかけている。また、1、2年生には、「ハマロード」の清掃活動を全員で行い、ボランティアの認識が前年に比べを高まった。学生対象のアンケートにおいて90%の学生が「学校はボランティア活動を推奨、支援している」と回答しているが、「積極的にボランティア活動に参加したい」という学生60%に留まっていることから学生のボランティアに対する意識を向上させるアクションが課題として残る。

XI 国際交流

中項目	評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
留学生の受入れに おける適切な管理	①留学生の受け入れ派遣等において適切な体制が整備され、手続きなどがとられているか。	4	3	2	1
国際交流	②国際交流への取り組みをしているか。	4	3	2	1

【現状と課題】

平成 30 年度入学生において、留学生を受け入れた。入学の条件や受け入れ体制については、留学生の受け入れの規程およびマニュアルなど明文化が必要である。

国際交流として、外国人との交流は行っていない。グローバル社会、在留外国人の増加、及び国際看護の観点から、国際交流についての取り組みをしていかなければならない。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成 30 年度の自己点検自己評価の結果は、当初本年 6 月末を予定していたが、評価項目の具体的な指標を作成する作業等、今年度に入ってしまったため、結果公表が遅れてしまった。自己点検・自己評価が有効に行われるために、今年度中に、評価指標の整理を進め、来年度早期に評価結果が出せるようにしていきたい。

また、各項目の課題が抽出され、計画的に解決していく。特に危機管理マニュアルの整備、災害マニュアルの見直しを早急に進める。

平成 30 年度学校評価アンケート【教職員対象】

学校評価は、学校教育法で義務化され、当校でも 2 年前より学校評価に取り組み、ホームページにも公表しています。アンケートのご協力をお願いします。尚、このアンケート結果は、学校評価以外には使用することはありません。また、個人を特定できるような公表はいたしません。

<評価方法>

4…当てはまる 3…ほぼ当てはまる 2…あまり当てはまらない 1…当てはまらない
※いずれかの数字を選んで○をつけてください。

【教育理念・目標】

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1 学校の理念、目的、人材育成像を理解している。 | (4 3 2 1) |
| 2 学校の職業教育の特徴を理解している。 | (4 3 2 1) |
| 3 学校の理念、目的、人材育成像は学生に周知されている。 | (4 3 2 1) |

【学校運営】

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| 4 運営方針・事業計画があることを知っている。 | (4 3 2 1) |
| 5 運営目標を意識して業務をしている。 | (4 3 2 1) |
| 6 学校運営会議は機能している。 | (4 3 2 1) |
| 7 学則や諸規程は必要に応じて適切に見直されている。 | (4 3 2 1) |
| 8 人事に関する規程により人事考課がおこなわれている。 | (4 3 2 1) |
| 9 教務・事務の業務分掌は整備されている。 | (4 3 2 1) |
| 10 教員会議は機能している。 | (4 3 2 1) |
| 11 各委員会は機能している。 | (4 3 2 1) |
| 12 学校は危機管理体制を整備している。 | (4 3 2 1) |
| 13 学校のセキュリティー対策は万全である。 | (4 3 2 1) |
| 14 学校は SNS の利用、個人情報保護に関する指導は適切に行っている。 | (4 3 2 1) |
| 15 学校は非常時に備え緊急連絡体制は確立されている。 | (4 3 2 1) |
| 16 情報システム化による業務の効率化が図られている。 | (4 3 2 1) |

【教育活動】

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 17 教育課程は教育理念、目標に沿ったものである。 | (4 3 2 1) |
| 18 教育計画を把握している。 | (4 3 2 1) |
| 19 教育課程を学生に周知している。 | (4 3 2 1) |
| 20 「看護師に求められる実践能力の卒業時の到達度」を意識している。 | (4 3 2 1) |
| 21 「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」を意識している。 | (4 3 2 1) |
| 22 カリキュラムは体系的に編成されている。 | (4 3 2 1) |
| 23 授業は、理解しやすいように工夫している。 | (4 3 2 1) |
| 24 実践的な職業教育の視点に立った教育方法の工夫をしている。 | (4 3 2 1) |
| 25 臨地実習は、指導者と連携し学生が実践しやすい工夫をしている。 | (4 3 2 1) |
| 26 学習指導案（授業案・実習指導案）を立案している。 | (4 3 2 1) |
| 27 授業評価をしている。 | (4 3 2 1) |
| 28 学生が意欲的に学習できるように努めている。 | (4 3 2 1) |
| 29 家庭学習の習慣を身につけさせている。 | (4 3 2 1) |
| 30 日頃より礼儀や挨拶を習慣づける指導をしている。 | (4 3 2 1) |
| 31 国家試験対策は学年の特色や学生の特性を考えている。 | (4 3 2 1) |
| 32 国家試験合格に向け、熱意をもって指導している。 | (4 3 2 1) |

- 33 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっている。(4 3 2 1)
- 34 教員の研修体制は整っている。(4 3 2 1)
- 35 職員の能力開発のための研修が行われている。(4 3 2 1)

【学習成果】

- 36 就職率の向上が図られている。(4 3 2 1)
- 37 国家試験合格率の向上が図られている。(4 3 2 1)
- 38 退学率の低減が図られている。(4 3 2 1)
- 39 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している。(4 3 2 1)
- 40 卒後のキャリアを把握し、学校の教育活動の改善に活用している。(4 3 2 1)

【学生支援】

- 41 進路・就職に関する支援体制は整備されている。(4 3 2 1)
- 42 就職に関する相談に適切に対応している。(4 3 2 1)
- 43 学生の悩みや問題に適切に対応している。(4 3 2 1)
- 44 学生相談室(カウンセリング)が適切に機能している。(4 3 2 1)
- 45 TMGの奨学金、生活協力金の制度を理解している。(4 3 2 1)
- 46 TMG以外の奨学金制度を理解している。(4 3 2 1)
- 47 学生の健康管理を担う組織体制は整備されている。(4 3 2 1)
- 48 学生のWILL 保険の加入について理解している。(4 3 2 1)
- 49 TMGの診療費補助について理解している。(4 3 2 1)
- 50 学生の教材費について理解している。(4 3 2 1)
- 51 保護者と適切に連携している。(4 3 2 1)
- 52 課外活動に対する支援体制は整備されている。(4 3 2 1)
- 53 卒業生への支援体制はある。(4 3 2 1)
- 54 社会人のニーズに踏まえた教育環境が整備されている。(4 3 2 1)
- 55 高校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われている。(4 3 2 1)

【教育環境】

- 56 学校は、施設設備の清掃や整理整頓に努めている。(4 3 2 1)
- 57 施設、設備、備品等の整備、管理ができている。(4 3 2 1)
- 58 施設、設備、備品等を大切に使用している。(4 3 2 1)
- 59 実習施設は十分な教育体制を整備している。(4 3 2 1)
- 60 海外研修の教育体制を整備している。(4 3 2 1)
- 61 防災に対する体制は整備されている。(4 3 2 1)
- 62 災害時行動マニュアルを理解している。(4 3 2 1)
- 63 災害訓練は積極的に参加している。(4 3 2 1)

【学生募集】

- 64 高校に対する情報提供などの取り組みを行っている。(4 3 2 1)
- 65 学生募集活動は適正に行われている。(4 3 2 1)
- 66 学生募集活動に協力している。(4 3 2 1)
- 67 パンフレットや募集要項の内容を理解している。(4 3 2 1)

【法令の遵守】

- 68 個人情報保護に関し、保護のための対策がとれている。(4 3 2 1)
- 69 学校評価(自己点検・自己評価)について理解している。(4 3 2 1)

【社会貢献・地域貢献】

- 70 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をしている。(4 3 2 1)
- 71 学校は、学生のボランティア活動を推奨、支援している。(4 3 2 1)

【その他】

72 自由記載（ご意見・要望をご自由にお書きください）

ご協力ありがとうございました。

平成 30 年度学校評価アンケート【学生対象】

学校評価は、学校教育法で義務化され、当校でも 2 年前より学校評価に取り組み、ホームページにも公表しています。アンケートのご協力をお願いします。尚、このアンケート結果は、学校評価以外には使用することはありません。また、個人を特定できるような公表はいたしません。

<評価方法>

4…当てはまる 3…ほぼ当てはまる 2…あまり当てはまらない 1…当てはまらない

※いずれかの数字を選んで○をつけてください。

【教育理念・目標】

- 1 教育理念、教育目標を知っている。 (4 3 2 1)
- 2 教育理念、教育目標はわかりやすい。 (4 3 2 1)
- 3 教育理念、教育目標が授業や学校生活に反映されている。 (4 3 2 1)

【授業・授業評価】

- 4 シラバスの内容はわかりやすい。 (4 3 2 1)
- 5 授業は、理解しやすく工夫されている。 (4 3 2 1)
- 6 教授方法は、実践的な形式で工夫されている。 (4 3 2 1)
- 7 授業評価は実施されている。 (4 3 2 1)

【臨地実習】

- 8 教員と臨地実習指導者との調整が行われていて、実習しやすい。 (4 3 2 1)
- 9 実習中困った時に、教員や臨地実習指導者からアドバイスをもらうことができる。 (4 3 2 1)
- 10 教員の指導内容は分かりやすい。 (4 3 2 1)
- 11 臨地実習指導者の指導内容は分かりやすい。 (4 3 2 1)

【学習成果】

- 12 成績評価・単位認定・進級判定・卒業判定の基準は明確になっている。 (4 3 2 1)
- 13 看護師に求められる実践能力の卒業時の到達目標を知っている。 (4 3 2 1)
- 14 看護師教育の技術項目と卒業時の到達度を知っている。 (4 3 2 1)

【国家試験対策】

- 15 3年間を通しての国家試験対策計画が立てられているのを知っている。 (4 3 2 1)
- 16 国家試験対策の内容は各学年にふさわしいものである。 (4 3 2 1)
- 17 国家試験に対する相談を気軽にできる環境である。 (4 3 2 1)
- 18 国家試験対策の効果が出ていると感じる。 (4 3 2 1)

【学校行事】

- 19 年間行事について説明がある。 (4 3 2 1)
- 20 学校行事には積極的に参加している。 (4 3 2 1)
- 21 学校行事は思い出になる。 (4 3 2 1)

【学生支援】

- 22 教職員は学生の相談に適切に対応している。 (4 3 2 1)
23 校内のカウンセリングは自由に相談できることを知っている。 (4 3 2 1)
24 就職に関する支援体制はできている。 (4 3 2 1)
25 就職先に関する教職員のアドバイスは適切である。 (4 3 2 1)
26 TMGの奨学金、生活協力金の制度を理解している。 (4 3 2 1)
27 TMG以外の奨学金制度を知っている。 (4 3 2 1)
28 健康管理ができる体制になっている。 (4 3 2 1)
29 健康について自己管理ができている。 (4 3 2 1)
30 自治会活動や部活動をしたい。 (4 3 2 1)
31 学生便覧は、学生生活に役立っている。 (4 3 2 1)

【教育環境】

- 32 教室は使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
33 講堂・合同教室は使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
34 実習室は使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
35 実習室の利用時間、利用方法は適切である。 (4 3 2 1)
36 情報処理室は使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
37 カンファレンス室・演習室は使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
38 図書室は使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
39 図書室の利用時間、利用方法は適切である。 (4 3 2 1)
40 ラウンジは使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
41 更衣室は使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
42 トイレは使いやすい環境である。 (4 3 2 1)
43 教育環境を保つため清掃を率先して行っている。 (4 3 2 1)
44 海外研修の機会があれば参加したい。 (4 3 2 1)
45 防災に対する整備はされている。 (4 3 2 1)
46 災害訓練・避難訓練は真剣に参加している。 (4 3 2 1)
47 個人情報保護が遵守されている環境である。 (4 3 2 1)
48 SNSは倫理的問題を認識して使用している。 (4 3 2 1)
49 WILL 保険の加入は必要である。 (4 3 2 1)

【社会貢献・地域貢献】

- 50 学校は、ボランティア活動を推奨、支援している。 (4 3 2 1)
51 積極的にボランティア活動に参加したい。 (4 3 2 1)

【その他】

- 52 学校評価（自己点検自己評価）を行っていることを知っている。 (4 3 2 1)
53 自由記載（ご意見・要望をご自由にお書きください）

ご協力ありがとうございました。